

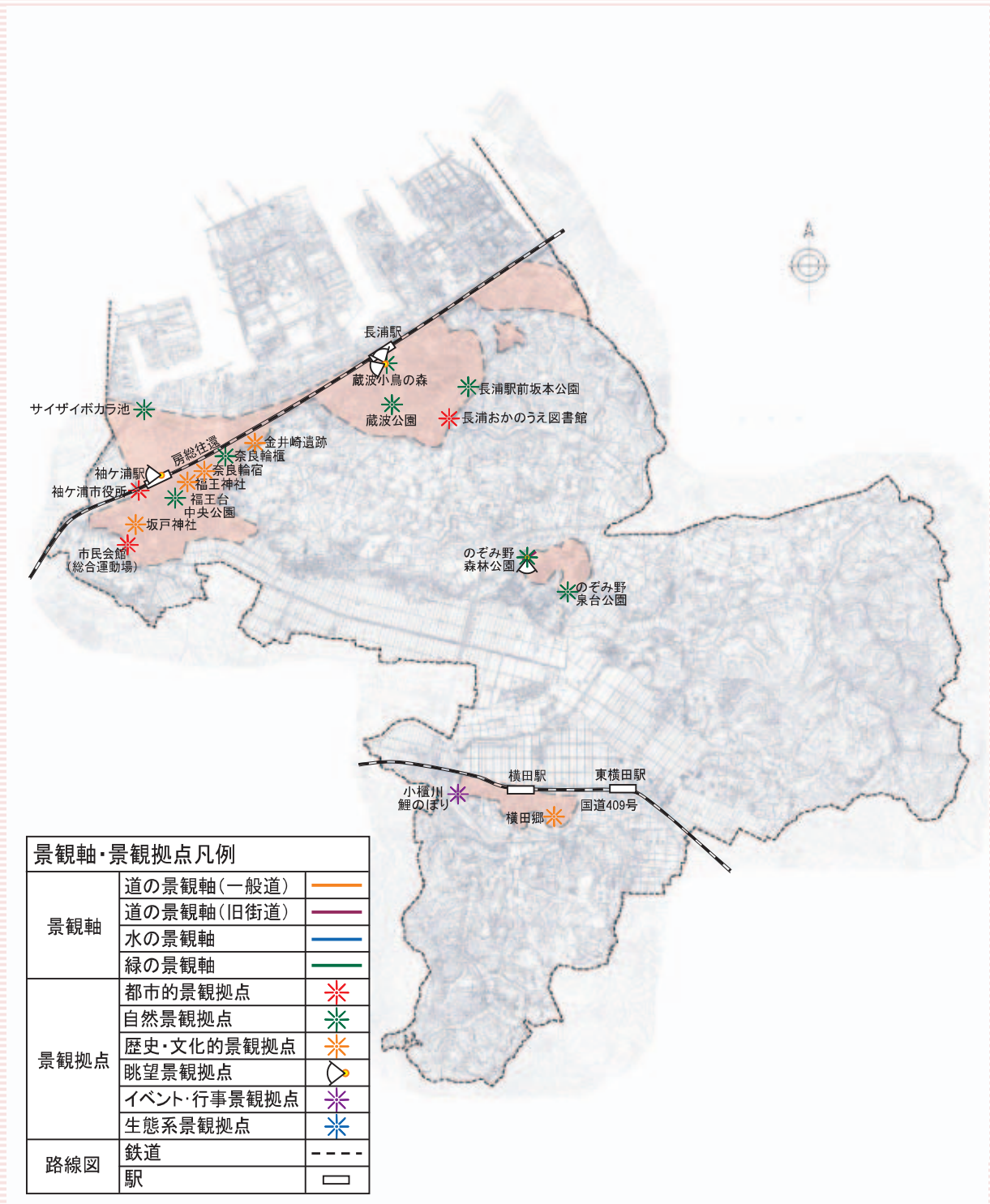
4 市街地エリア

地区の目標

住む人も訪れる人も、
暮らしを楽しみ、賑わいを感じる景観まちづくり



主要駅周辺や、住宅地、商業地の混在する地域一帯



■ 3. 良好な景観の形成に関する方針 ■

景観の特徴

- 鉄道駅周辺の既存市街地及び土地区画整理及び宅地開発により形成された新市街地です。幹線道路沿いには、商業・サービス業施設が立地し、地域内は主に低層で優良な住宅地が形成されています。
- 市の玄関口となる駅周辺の公共施設等の整備においては、来訪者に袖ヶ浦の魅力を伝える必要があります。
- 住宅地では、黄赤（YR）、黄（Y）系の暖色系色相が中・高明度、低彩度で多くの建築物に使用されており、住環境にふさわしい、明るく落ち着いた景観を形成しています。
- 多くの商業・サービス業施設は、暖かみのある落ち着いた色彩を基調色としていますが、中には派手な色彩を基調色とした建物が混在し、都市景観の中から突出した印象を与えています。



景観形成の基本方針

地域の拠点にふさわしい、質の高い景観づくり



- まちの顔づくりや賑わいづくりに貢献する、魅力あるまちなみを形成する建築物等の計画とする。
- 人々が集う拠点施設においては、地域の特徴を活かし、潤いのある景観形成を図る。

富士山などの眺望、公園や神社など、地域資源を活かした景観づくり



- 眺望が得られる場所の活用や公園、神社などの緑とのつながりに配慮する。
- 街路樹の保全、育成により、親しみ深い沿道景観の形成を図る。

暮らしに賑わいや楽しさ、居心地の良さを感じる景観づくり



- やすらぎある景観の連続性に配慮し、周辺の街並みとの違和感や圧迫感を与えないよう、建築物等を計画する。
- 四季を感じさせる植栽など、住まい手による身近な景観づくりの取組みを推進する。

まち並みとしての一体感を演出する色彩の景観づくり



- 住宅地では、まち並み全体や隣接する建築物などとの連続性や共通性を考慮し、安らぎと落ち着きのあふれる色彩の景観づくりに配慮する。
- 商業・サービス業施設の基調色は派手な色彩を避け、まち並みの連続性やゆとりある空間を確保するなど一体感のある景観となるよう配慮する。
- 商業・サービス業施設には、賑わいや華やかさのある色彩表現も必要なことから、アクセントカラーを上手に採り入れるなど、周囲の景観とのバランスを考慮しながら、楽しく魅力的な駅前や沿道となるよう努める。